

事務事業チェックシート

事務事業No 724 事業名 チャイルドシート貸出事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		民生費	
	項		児童福祉費	
	目		児童福祉総務費	
	大事業		児童福祉総務事業	
事項		子ども・子育て応援事業		

[長期総合計画]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	3	子育て支援の充実
施策	1	子育て支援の充実
基本方針	1	家庭における子育て支援

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	H23 ~		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	子育て支援課	露野 恵司	435-1329
関連課			

[3つの約束・44の約束]との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）		事業内容					
事業概要	市民の子育て世帯の支援と乳幼児の安全を目的として、チャイルドシートを貸出する。		市内在住で自動車運転免許証を所持し6歳児未満の幼児を養育している方に最長6カ月間、和歌山市社会福祉協議会及びNPO法人などの5箇所において、チャイルドシート・ジュニアシートの貸出を行う。NPO法人等に連絡し、在庫を確認の上、申請書、免許証の写し、車検証の写し等を提出してもらい貸し出している。費用は、クリーニング代として貸出時に2,575円が必要。平成27年度をもって終了。				
	実施内容		平成25年度 チャイルドシート・ジュニアシートの貸出	平成26年度 チャイルドシート・ジュニアシートの貸出	平成27年度 チャイルドシート・ジュニアシートの貸出	平成28年度	平成29年度

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	630	567	583	584	584	584				
伸び率 (%)	-	-	-7.5%		0.2%		-100.0%		-	
人件費	常勤職員	3,642	2,722	2,722	2,686	2,686	1,257			
	非常勤職員						1,167			
	小計	3,642	2,722	2,722	2,686	2,686	2,424			
国庫支出金	0									
県支出金	0									
市債	0									
その他	0									
一般財源(税等)	630	567	583	584	584	584				
所要人数	常勤職員	0.49	0.36	0.36	0.35	0.35	0.17			
	非常勤職員						0.53			
主な予算内訳										

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	申請件数				年度目標値	60	45	45	
					実績値	40	42	52	
	単位	件	全体目標値		年度別達成度	66.7%	93.3%	115.6%	
			全体目標達成度		年度別達成度				
成果指標	貸出件数				年度目標値	60	45	45	
					実績値	40	42	52	
	単位	件	全体目標値		年度別達成度	66.7%	93.3%	115.6%	
			全体目標達成度		年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき		他の主体との協働も可能	○ 市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小				
	廃止	○			
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	貸出件数においては、微動の状況ではあるが、チャイルドシート・ジュニアシートの利用啓発においては、一定の効果があったと考えられるため、平成27年度をもって、事業廃止とする。
「見直し」 「改善」案	事業については、27年度をもって終了となるが、民間のNPO法人が一部引き継ぎ、貸し出し事業を実施する予定。